



トタル・ルブリカンツ・ジャパン株式会社

2006 F-1グランプリ、10日に開幕。 V2へ、 ルノー・エルフF1の挑戦が再び始まる。

ドライバーズ&コンストラクターズのWタイトルを獲得した2005年シーズン。まったく新しいレギュレーションのもと迎える2006年シーズン、F-1という頂点で新しい考えや技術を磨く、ルノー&エルフの新しい挑戦が始まります。

3月10日~12日、中東の地バーレーンで開幕のF-1は大きくレギュレーションが変更されています。その中で大きなポイントを挙げます。

1. エンジンの変更：2.4L V型8気筒エンジンへ。従来より排気量、気筒数とも2割減で馬力、トルクともかなりの減少となります。また、Vのバンク角は90度、最低重量95kg、重心位置も決められ、使用素材も規定されるなど、開発はかなり限定されるものとなっています。2レースで1エンジンという規定は2005年と同様です。
2. タイヤ交換可能：レース中のタイヤ交換が可能となりました。ただし、1レースウィーク中で使えるのは7セットまで。(レインタイヤを除く)
3. 予選：バトルロイヤル方式へ。最初の15分間でタイムの下位6台(出走台数22台の場合)がふるい落とされ、後方グリッド順が決定。さらに次の15分間でタイムの遅い6台がふるい落とされます。そして最後のセッション20分間で残った10台により、上位グリッドが争われます。燃料は最初の2セッションでは搭載量自由でレースまでに給油可能。最後のセッションでは、参加車はレーススタート後まで給油不可となりますが、スタートまでにセッション中に減った分だけの補充が許されます。

エンジンレギュレーションの変更は、他へのアドバンテージを得ることを難しくしているだけに、なおさらオイルやガソリンが重要となってきました。排気量の減少により失った低・中速トルクとピークパワーを少しでもリカバーするオイルとガソリンを。エルフの開発はこれまでも、これからもチャレンジスピリットをたたえ続けます。2006年、ルノー・エルフF1の戦いにご注目ください。



2006年ルノー・エルフF1チーム体制

ドライバー	No.1	F.アロンソ
	No.2	G.フィジケラ
シャシー(車体)	Renault R26	
エンジン	Renault RS26 V8	

2006年F-1開催スケジュール

日程(決勝日)	国名	サーキット
3月12日	バーレーン	サヒール
3月19日	マレーシア	セパン
4月2日	オーストラリア	メルボルン
4月23日	サンマリノ	イモラ
5月7日	ヨーロッパ	ニウルブルクリンク
5月14日	スペイン	バルセロナ
5月28日	モナコ	モナコ
6月11日	イギリス	シルバーストーン
6月25日	カナダ	モンリオール
7月2日	アメリカ	インディアナポリス
7月16日	フランス	マニクール
7月30日	ドイツ	ホッケンハイム
8月6日	ハンガリー	ハンガロリンク
8月27日	トルコ	イスタンブール
9月10日	イタリア	モンツァ
9月17日	ベルギー	スパフランコルシャン
10月1日	中国	上海
10月8日	日本	鈴鹿
10月22日	ブラジル	インテルラゴス